

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム やさしい時間作成日: 平成 28 年 10 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、運営が安定して行なわれるための、若手の職員の介護技術の向上と意識の高揚を目指していく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	外出レクリエーションを実施しているが、日常的な暮らしの中で、散歩や買い物等の一寸とした外出が少なくなっているため、職員の頑張りや、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組む。	入浴日と外出やレクリエーション、作品作り等が、利用者の心身の状態に合わせて、いつでも出来るように工夫し、利用者の生きがいに繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。